


概要

本製品は、Linux アプリケーションから弊社 CAN インタフェースモジュールを制御する為のソフトウェアです。

特長

- CAN プロトコル Version 2.0B(アクティブ)/CAN FD に対応しています。
アプリケーションでは CAN プロトコルを意識することなく、メッセージの送受信が行えます。
- 各チャンネルを独立に制御できます(通信速度、その他のパラメータなど)。
- 送受信データをメッセージ単位で扱えますので、プログラムの作成が容易です。
- デバイスドライバ内部にバッファを用意することで、アプリケーションの処理が遅れた場合のオーバーランエラー発生の確率を低減しています。
- CAN 製品の自己診断を行うプログラム、モニタ用プログラムが付属しています。

対応 OS

Interface Linux System 9 64bit
Interface Linux System 8 64bit
Interface Linux System 7 64bit
Interface Linux System 7 32bit
Interface Linux System 6 64bit
Interface Linux System 6 32bit
Interface Linux System 32bit

対応言語

gcc

注意事項

—